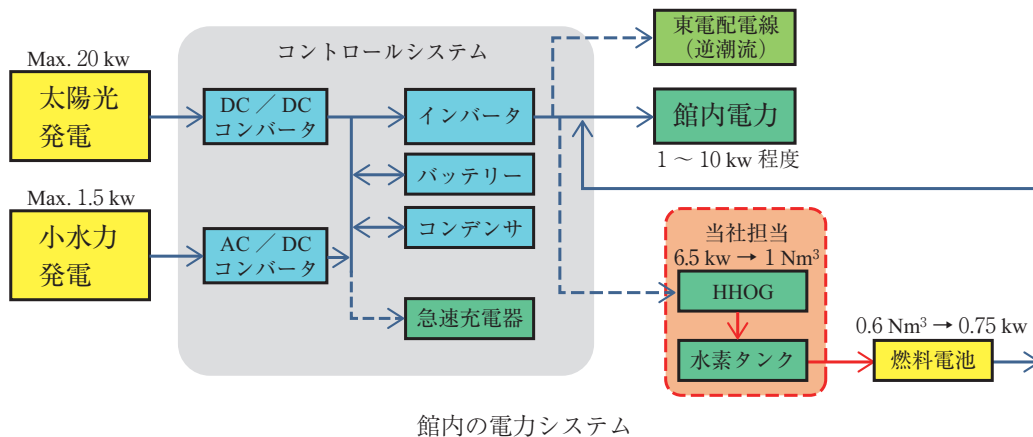


山梨県米倉山太陽光発電所 PR 施設 「ゆめソーラー館やまなし」に水素発生装置（HHOG）納入

山梨県では地球温暖化対策を推進するため、全国有数の日射量を有する地域特性を生かし、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や普及に取り組んでいます。

当社は、その中核をなす米倉山太陽光発電所の PR 施設「ゆめソーラー館やまなし」に、太陽光パネル等から供給される変動電源に対応して運転可能な水電解式水素発生装置（HHOG）を納入し、実証試験を開始しました。

「ゆめソーラー館やまなし」では、エネルギーの自給自足による「CO₂ゼロ運営」を行うため、太陽光発電、小水力発電などの自然エネルギーを利用しています。しかし自然エネルギーは不安定であり、館内電力を確保する手段として、バッテリー蓄電のほか、余剰電力を利用し HHOG で水素を発生させ貯蔵し、必要ときに燃料電池で発電し電力を補うシステムとなっています。



今後、再生可能エネルギーで HHOG を効率的に運用するための実証データの取得・解析を進め、本分野での HHOG 普及を進めていきます。



「ゆめソーラー館やまなし」展示室



HHOG